

庁議 案件申込書

申込日 平成21年 10 月 28 日

案件名	バイオディーゼル燃料化推進事業のスキーム見直しについて											
所管	環境経済	局	資源循環	部	清掃施設	課	担当者		内線			
概要	地球温暖化の防止と循環型社会の構築に向けて、平成19年5月からごみ収集車及びコミュニティバスによるバイオディーゼル燃料100%での実証実験を行っている。平成20年9月には「バイオディーゼル燃料化推進事業基本計画」を策定し、公設による日量1,500リットルのバイオディーゼル燃料化施設の建設を予定していたが、燃料製造技術の改良や環境負荷低減車両の開発動向、製造コストの面から、22年度末までは改良された高品質バイオディーゼル燃料での実証実験を行うとともに、回収量に見合った製造量、実施主体のあり方等について検討を行う。											
審議内容(論点)	○バイオディーゼル燃料化推進事業の経過説明(報告) ○バイオディーゼル燃料化推進事業のスキーム見直し(案)について											
審議希望日	関係課長会議	平成21	年	10	月	28	日	政策調整会議		年	月	日
	局経営会議	平成21	年	11	月	5	日	政策会議		年	月	日
日程等調整事項	条例等の調整	なし		議会上程時期								
	パブリックコメント	実施なし		時期		議会への情報提供		資料提供	平成21年11月			
検討経過等	関係部局との調整	関係部局名等			調整項目			調整状況				
	打合せ・会議の経過											
	月日	会議名等			内容							
	平成19年7月25日	主管会議			バイオディーゼル燃料推進検討会議の設置について							
	平成19年10月25日	バイオディーゼル燃料推進検討会議			使用済み食用油のバイオディーゼル燃料化について							
	平成19年11月2日	主管会議			使用済み食用油のバイオディーゼル燃料化について							
	平成19年11月16日	局経営会議			使用済み食用油のバイオディーゼル燃料化について							
	平成20年5月9日	バイオディーゼル燃料推進検討会議			バイオディーゼル燃料化推進事業基本計画の策定について							
平成20年7月29日	バイオディーゼル燃料推進検討会議			バイオディーゼル燃料化推進事業基本計画の策定について								
平成20年8月1日	主管会議			バイオディーゼル燃料化推進事業基本計画の策定について								
平成20年8月7日	経営調整会議			バイオディーゼル燃料化推進事業基本計画の策定について								
平成20年8月12日	経営会議			バイオディーゼル燃料化推進事業基本計画の策定について								
平成21年10月28日	関係課長会議			バイオディーゼル燃料化推進事業のスキーム見直しについて								
備考	平成20年9月に「バイオディーゼル燃料化推進事業基本計画」を策定したが、同年11月に発注方式を図面発注方式から性能発注方式に変更したため、工事着工が平成21年10月から平成23年4月に延期となった。											

会議開催日程等 (局経営会議、関係課長会議用)

区分	局経営会議										
開催日時	平成21	年	11	月	5	日	(木)	午前	9時	00分	～
会場	第1特別会議室										
出席課・機関等	<input type="checkbox"/>	小星副市長	<input type="checkbox"/>	環境経済局長	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		
	<input type="checkbox"/>	経済部長	<input type="checkbox"/>	環境保全部長	<input type="checkbox"/>	資源循環部長	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		
	<input type="checkbox"/>	環境経済総務室長	<input type="checkbox"/>	産業振興課長	<input type="checkbox"/>	環境対策課長	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	廃棄物政策課長	

裏面に事案の具体的内容を記載してください。

**事案の
具体的な内容**

(1) 事業経過

平成19年 5月 京都市の民間事業者が製造したBDF100%での実証実験を開始
 平成19年 8月 庁内にバイオディーゼル燃料推進検討会議を設置
 平成19年11月 局経営会議にて本事業を承認
 平成20年 2月 新型ディーゼル車での実証実験開始
 平成20年 4月 コミュニティバスでの実証実験開始
 平成20年 9月 バイオディーゼル燃料化推進事業基本計画を策定
 平成20年11月 バイオディーゼル燃料化施設の建設スケジュールを約1年半延期を決定
 平成20年12月 橋本台収集事務所に車両の点検整備を行う環境整備員を配置
 平成21年 7月 富山市の民間事業者が製造したBDF100%での実証実験を開始
 平成21年10月 松山市の民間事業者が製造した高品質BDF100%での実証実験を開始

(2) スキーム見直し

【検討事項1】 高品質バイオディーゼル燃料での実証実験

平成21年2月に改正品確法が施行されたことに伴い、装置メーカーにおいて蒸留技術等を導入した高品質BDF製造装置が開発されている。この装置で製造された高品質BDFは、JIS規格及び県の燃料規制値も満たしていることから、平成22年度末まで高品質BDFでの実証実験を行い、燃料の信頼性及び車両影響等の実証を行う。

【検討事項2】 環境負荷低減車両の開発動向把握

環境負荷の低減に向けて、乗用車はハイブリッド車や電気自動車が加速度的に普及しつつあるが、ディーゼル車の今後の方向性が現時点では見えないため、自動車業界の開発動向等の把握を行い、それに伴う必要な燃料使用見込み量の算定や事業の方向性を見定める。

【検討事項3】 実施主体のあり方の検討

平成20年9月に策定した「バイオディーゼル燃料化推進事業基本計画」では、自治体として地球温暖化防止へ寄与することを前提に、公設による施設設置を予定しているが、製造コストの削減が重要な課題となっているため、実施主体のあり方について比較検討を行う。

⇒ 今後1～2年は、高品質バイオディーゼル燃料での実証実験を行うとともに、燃料の信頼性及び車両影響等のデータ蓄積、ハイブリッド車等の開発動向把握、実施主体のあり方・方策等の検討を行う。

(3) スケジュール

21年度	22年度	23年度(予定)
従来のBDFを購入して実証実験 (ごみ収集車3台)		小型の高品質BDF製造装置を購入またはリースして試験製造
	高品質BDFを購入して実証実験 (ごみ収集車3台、コミバス1台)	試験製造をした高品質BDFで実証実験 (ごみ収集車8台、コミバス1台)

(4) 事業の方向性

バイオディーゼル燃料化施設の設置については、公設にとらわれず、民間事業者や社会福祉法人・NPO等との連携も含めて、実施主体のあり方や具体的な事業スキームを検討する。
 ただし、バイオディーゼル燃料の製造は、製造装置によって品質がまちまちであるため、平成23年度には高品質バイオディーゼル燃料小型製造装置で試験的に燃料を製造し、品質確認や運転手法等の検証を行う。